

泉佐野市介護支援サポーター事業

## 介護支援サポーター研修会のお知らせ



サポーター登録後の活動でポイントを貯めてお得に♪

### □ 介護支援サポーターとは？

#### 目的

「元気な高齢者」の社会参加活動(介護支援など)を促進し、自らの生きがいと健康づくりの推進を目的としています。

#### 活動内容

介護施設などでの施設利用者の日常生活補助、趣味の指導、話し相手、施設主催行事の補助など。(身体介護は除く)

#### 対象者

介護保険で要支援・要介護認定を受けていない泉佐野市在住の65歳以上の方。

### □ 活動の流れ

興味がでたらまずは…  
研修申込

→ 研修受講  
サポーター登録

→ 活動開始!  
(1日1回1スタンプ)

→ ポイント交換・交付  
(スタンプ1個=100ポイント=100円換算)  
年間最大5000円受け取れます!

日時:平成28年9月27日(火)  
13:30~15:30 (9月23日(金)申込メ切)

場所:社会福祉センター2階 会議室  
内容:「介護支援サポーターとは」「認知症の理解」等

研修申込・詳しいお問い合わせはお気軽に♪ 地域包括支援センター TEL:072-464-2977



## 認知症による徘徊の対応方法

### 徘徊が起こる原因は…

徘徊が起こる原因は主に見当識障害です。見当識障害は現在の時間や今いる場所、自分の置かれている状況が理解できなくなることです。



### 認知症による徘徊と対応の心構え…

徘徊は家の中はもちろん、外を一人で歩き回るといふ行動です。意味もなく歩き回っているように見えますが本人はちゃんと目的を持って歩き回っています。家の中では何かを探している場合が多く、外には自分の家や仕事を探しに出掛けることが多いようです。しかし、最初は目的を持っているものの、途中でその目的を忘れてしまい、あてもなく歩き回ることも多いでしょう。

徘徊が見られても「勝手に出て行かないで」「何度言ったらわかるの」などと怒らないようにしましょう。行動を制限することで焦燥を招き、症状を悪化させます。

家の中をうろうろしている時には「トイレはこっちですよ」と声をかけたり、「家に帰る」と言っている人には無理に止めずに本人の気持ちを受け入れ「お茶を入れたので飲んで行って下さい」「今日はもう遅いので泊まっていてください」などお客様として対応したり、仕事に行こうとしている時は「今日は休み

ですよ」とつじつまを合わせるとよいでしょう。

警察庁のまとめによると昨年一年間で、認知症で行方がわからなくなり家族などから警察に届け出があった不明者が1万2208人にのぼり、前年と比べて1425人の増加で3年連続で最多を更新しました。

都道府県別では大阪が最も多く1791人、次いで兵庫の1319人、愛知の1150人と続き、東京は325人でした。認知症による行方不明においては着衣・靴への記名が重要です。

泉佐野社協では、認知症をもつ方々が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための一つの方法として、泉佐野市社協徘徊SOSネットワークを実施しています。このネットワークは市内に居住する認知症高齢者等が行方不明になった時に特徴などの情報をメール配信し、できるだけたくさんの方の協力により、早期発見・保護しようとするものです。

登録希望の方は泉佐野市社協地域包括支援センター【☎464-2977】までお問い合わせください。